

シラバス作成のガイドライン

シラバスは授業期間全体を通じた授業の進め方を示すとともに、各回の授業に求められる予習について、具体的提示をするという役割があります。シラバスは授業計画であり学習者の自己学習を助ける手引き書となるため、学習者が「何をどのように学ぶのか」の視点に立ち記載をしてください。

1. シラバスは以下の8項目で構成されています

- 1) 授業科目および時間数
- 2) 開講時期
- 3) 講師名（担当教員）
- 4) ねらい
- 5) 学習内容・授業時間数・授業形態
- 6) 履修条件
- 7) 評価方法
- 8) テキスト・参考書

2. 記載時の留意点

1) 「ねらい」について

- ・この項では、この授業が学習者が何をどのように学ぶのかを具体的に記載していきます。
- ・教育理念、教育目的を理解し、各分野の教育体系や構築の考え方の趣旨に沿ったものになるよう記載していきます。

2) 「学習内容」「授業数・授業形態」について

- ・「ねらい」で設定した目標をどのような手段で達成するかがこの「学習内容」から読み取れるような記述をします。
- ・「時間数・授業形態」にはその授業内容に係る時間と授業の形態を記載します。
例：講義、演習、〇〇に関するグループ討議・グループワーク、ロールプレイ等

3) 「履修条件」について

- ・この科目を学習し、修得するにあたり必要な要件を記載していきます。また、この授業に臨む学習姿勢や態度等の内容を含み記述する場合があります。

4) 「評価方法」について

- ・判定材料を明記します。ただし、技術試験や演習に伴う課題・参加態度、レポート

グループワークなどを判定材料とする場合は、原則としてその内容を明記して記載していきます。

- ・「ねらい」で設定した目標への到達度を計るような形での判定を行っていきます。

5) 「テキスト・参考書」について

- ・授業で使用するテキストの記載をします。参考書は副読本として使用する書籍等を記載します。
- ・学習者が授業時のため事前に準備していく必要があるものを記載していきます。